

沖地ネット

「第 33 回地域づくり団体全国研修交流会 石川大会報告」

沖縄県地域づくりネットワーク事務局：桂

平成 27 年 8 月 29 日（土）～31 日（月）の日程で、第 33 回地域づくり団体全国研修交流会石川大会（分科会：石川県内 11 会場、全大会・交流会：能登演劇堂（七尾市）、エクスカッション：石川県内 5 地域）が開催されました。

沖縄からは、総勢 12 名（第 2 分科会：桂、第 4 分科会：田中課長、第 7 分科会：川口さん、仲宗根さん、第 9 分科会：西村さん、高平さん、第 10 分科会：上野さん、第 11 分科会：北島班長、岡本さん、高安さん、島袋さん、新里さん）の参加となりました。

私は、第 2 分科会へ参加しました。【私たちは奥能登で「世界遺産」を育てている ～日本の宝「のとキリシマツツジ」その魅力と保全～】というテーマにひかれて応募し参加させていただきました。分科会は能登町で開催され、七尾駅からは、のと鉄道で穴水駅（穴水は大相撲の遠藤是木の出身地とのことです）へ移動し、そこからは、分科会担当の岩崎さん、堂前さんに迎えていただき、能登空港へ移動し、東京から参加するメンバーと合流後、会場となる柳田教養文化館において分科会となりました。NPO 法人のとキリシマツツジの郷理事長宮本康一氏の主催者挨拶、新潟県立植物園副園長倉重祐二氏の基調講演、NPO 法人のとキリシマツツジの郷副理事長大路篤夫氏の活動報告があり、その後、3 つのグループに分かれワークショップを行いました。ワークショップでは、出身地の違う方々と熱い意見交換が出来、非常に良い経験が出来ました。

その後宿泊所となるセミナーハウス山びこ荘へ移動。夕食時には、勇壮な「きりこ太鼓」による歓迎を受けました。その後の懇親会では、NPO 法人のとキリシマツツジの郷理事長の宮本氏と、直接談話ができ私のにとって貴重な経験でした。

翌日は、樹齢 300 年を超えるのとキリシマツツジの樹木を見学、柳田植物園では、ツツジの苗の記念植樹を行いました。私にとって、苗木の成長を見るため能登へ足を運ぶ理由が出来ました。その後は、千枚田の見学、キリコ会館の見学を行い、昼食は能登丼（海鮮丼）を頂きました。そこで使った輪島塗の箸は、持ち帰り可と言う粋な計らいがありました。

その後、総会会場の七尾市へ移動し、総会大会・交流会で、全国から参加された方々と合流しました。総会では、各分科会からテーマごとのまとめとひな壇トークでは仲宗根さん（中部広域）が参加し、総勢 14 人による活発な意見が交わされました。

総会の最後には、次年度開催地の熊本県から駆け付けた方々による熱いメッセージ（想い）がありました。

私は、今回初めての参加でしたが、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。詳しくは HP をご覧ください（近日中に掲載予定）。



行政活動紹介

浦添市企画部企画課 主事 比嘉沙希

浦添市は平成 27 年 7 月 1 日に市制施行 45 周年を迎えることができました。その記念する年に寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。



市制 45 周年記念ロゴ

浦添市では、文化・歴史などの地域資源を活用した地域づくりを行っています。市内で栽培から行っている桑の葉を利用した「てだ桑茶」や、市内の製菓事業者の方々が力をあわせて開発した「浦添桑菓撰」は浦添市の新しい特産品として注目されています。今年で第 4 回となる「桑っちーグランプリ」や市内のスイーツが一堂に集まる「スイーツフェア」などは若い方にも人気を博しています。大きなイベントとしては、浦添市最大のまつりである「てだこまつり」や、全国でも最大規模の「てだこウォーク」には、全国各地から参加者がおり、昨年度は「婚活ウォーク」という試みも大変好評いただきました。

市制施行 45 周年を記念して平成 27 年度は様々な記念事業・冠事業を行っております。もちろん市民以外の方が参加できるイベントなどもたくさんございますので、是非浦添市に「よりみち」していただけると幸いです。



民間活動紹介

美ぎ島宮古島 事務局長 新村 一広

来る、11 月 7 日・8 日は、沖縄県地域づくりネットワーク主催の、シマおこし研修交流会が下地農村環境改善センターにおいて開催されます。我ら、宮古島のスタッフも、沖地ネット事務局と協力しながら、準備に明け暮れる日々です。

現在の所、本島から 28 名の参加、宮古島からも 20 名の参加を目標に調整中です。

スケジュールは、11 月 7 日(土)の研修会においては、宮古島より 4 題の事例発表があり、その後、日本 NPO センターの常務理事の田尻氏を交えた討論会を行い、休憩をはさんで、フロアー(参加者)との質疑応答となります。その後、交流会を行い出席者一同の親睦を深めたいと思います。

その後は、下地島の「ていだの郷」へ移動し、夜なべ談議を考えています。

翌日、8 日(日)は、午前中にバスを用いた伊良部島、下地島の見学研修を行います。昼食を「ていだの郷」で取った後、宮古島市役所へ移動しそこで解散となる予定です。



今回は、宮古島合併 10 周年という節目の年であるとともに、伊良部大橋開通により宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島は橋で繋がることとなり、宮古島市にとっては、大きな節目の年にこのような島おこし研修を宮古島市で傘できる事を、宮古島のスタッフ一同大いに喜びに感じています。

本島から、おこしいただく会員の皆様にも喜んでいただけるよう、そして、この大会が無事に成功することを願って、現在、準備を行っております。